

日程	科目	獲得目標	内容	時間数	講師
【1日目】 令和7年 3月18日 (火)	就労系サービスにおけるサービス管理責任者と相談支援専門員の役割(講義)	就労系サービスにおけるサービス管理責任者と相談支援専門員の役割について確認すると共に、本研修全体を通して何を学ぶかを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修のガイダンス</li> <li>・就労系サービスにおけるサービス管理責任者の役割</li> <li>・就労系サービスにおけるサービス提供の視点</li> <li>・就労系サービスにおけるサービス管理責任者の視点</li> <li>・相談支援専門員の役割</li> </ul>	30分	社会福祉法人ライン工房 熊川 嘉一郎 氏  就労移行支援・就労継続支援B型 ルピカ 三浦 えり 氏  第二城南学園多機能型事業所 山口 洋平 氏  就労支援センター ワンピース 本村 達弥 氏
	就労支援のプロセスと就労系サービスの役割(講義)	就労支援のプロセス及び就労系サービスの各事業の役割を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労支援のプロセス</li> <li>・就労支援の各プロセスにおける就労系サービスの役割</li> </ul>	90分	
	職業準備性とアセスメント(講義・演習)	職業準備性の概念や視点、働くことの意味を踏まえたアセスメントの視点や方法について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業準備性の考え方</li> <li>・就労アセスメントとその視点</li> </ul>	90分	
	企業と経営の基礎理解(講義・演習)	企業経営や企業文化、労働関係法規等就労支援を行う際に必要な基本的視点や知識、就労継続支援事業の運営にあたって踏まえておくべき経営的アプローチについて理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本における企業の位置付けや企業文化</li> <li>・労働関係法規の体系と障害者の就労支援・就労継続支援A型事業に特に関わりの深い労働関係法規</li> <li>・就労継続支援事業の経営改善や工賃向上に向けた経営分析の手法(財務諸表と損益分岐点等)</li> </ul>	150分	
	職務分析等と作業指導(講義・演習)	職務分析等を行うことによる効果的な支援の方法について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職務分析と課題分析に基づいた作業指導や職務の切り出し、環境調整等の方法</li> </ul>	150分	
【2日目】 令和7年 3月19日 (水)	就労支援におけるケアマネジメント(講義)	ケアマネジメントの概念を理解したうえで、自事業所内のマネジメントや他機関との連携を通して、職業生活を含めた生活全般を支援することの必要性と方法について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネジメントの理論に基づく職業生活を支えるための支援の考え方と方法</li> <li>・関係機関の役割、機能</li> <li>・地域におけるネットワーク</li> </ul>	60分	
	ケースから学ぶ就労支援プロセスの実際(演習)	就労系サービスの支援の流れと各支援内容、相談支援や関係機関の連携の方法等について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労系サービスや就労支援に関するサービス提供プロセス</li> <li>・就労系サービスに関する個別支援計画を核としたサービス管理</li> <li>・相談支援専門員と就労系サービスにおけるサービス管理責任者の連携、サービス等利用計画と個別支援計画の関係性</li> <li>・就労系サービスや就労支援に関する関係機関等との連携</li> </ul> (※以上について、事例に基づく演習を実施する。)	240分	
	研修の振り返り(講義)	研修全体を振り返り、本研修による学びの定着を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修のまとめ</li> <li>・受講生自身による気づきの言語化</li> </ul>	30分	
合計				14時間	